

第 25 回 勝谷紀子さん (青山学院大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第 25 回目は、勝谷紀子さん (青山学院大学) にご執筆いただきました。

三題噺

古典落語の代表作「芝浜」は「酔っぱらい」「芝浜」「革財布」という一見関係なさそうな言葉を結びつけてできたという。研究でもこれと似たことがあるのではないか。社会問題、理論、分析手法、人びと…これまで関わり合わなかったこと・人が結びつき、新たな研究や優れた発見につながる。私の場合、難聴者の精神的健康に関するインタビュー研究だった。聞こえにくいという私の個人的属性を研究するなど以前は考えもしなかったが、難聴者にインタビューで話を伺うと未解決の問題や心理的支援の必要さに気づかされる。聞こえにくさとうまく付き合いながら落語や音楽など趣味を楽しむ人たちとの出会いもあった。今後もライフワークとして続けたい。

勝谷紀子さん (Noriko KATSUYA)

【所属】 青山学院大学社会情報学部

【連絡先】 katsuya_noriko@nifty.com

【ホームページ】 <https://sites.google.com/site/norikokatsuya/>

【その他】 個人ウェブサイトでは、現在行っている難聴者の精神的健康に関する協力者募集をしています。習い始めて 4 年目の落語のコーナーも今後充実させたいです。ぜひお立ち寄り下さい。